

普及活動情勢報告（令和 2 年 12 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

ショウガの特性調査を行いました ～種苗登録申請～



連携し調査を行いました

11 月 30 日、㊤生姜生産組合の生産者ほ場において、ショウガ種苗登録申請のため特性調査を行いました。

普及所は、生産者と一緒に 20 項目について特性を調査しました。調査は 2 年目で、作業を役割分担し、効率的かつ精度の高いデータが得られ、取りまとめを行いました。新系統は、生産者のショウガ栽培集大成として育成されてきたものです。

今後、申請のための書類を作成し、種苗登録の申請支援を行っていきます。

‘よさ恋美人’の生産拡大に向けて ～J A 高知市稲作部年末研修会～



米穀情勢や試験結果を聞いて、来年の植付計画を考えよう。

12 月 8 日に、ドリーマーベイシャトーで JA 高知市稲作部会の年末研修会が開催され、生産者等 29 名が参加しました。

普及所からは、奨励品種決定試験、‘よさ恋美人’の収穫前進化など、今年取り組んだ実証試験の結果を発表しました。コロナ対策でその場での質疑ができませんでしたが、会議終了後、生産者等から「‘よさ恋美人’の新美食倶楽部は収量が多いね。使ってみるか。」「‘つきあかり’ってどんな品種？」など試験結果への反応がありました。

普及所は、今後も水稻の安定生産技術の普及推進及び‘よさ恋美人’の生産拡大に取り組んでいきます。

キュウリ農家の経営安定に向けて ～複合経営 PT 会～



今作の検討品目について総括

12 月 9 日、JA 春野営農経済センターで複合経営プロジェクトチーム会を開催し、JA の販売及び営農担当と普及員 14 名で、キュウリとの複合品目について協議・検討しました。

今年度検討してきた 7 品目について、栽培や販売状況等を確認し、生産者向けに推奨していく品目等を決定しました。普及所は、既存の検討対象品目以外で今後の候補となり得る品目について、説明・提案しました。

普及所は今後も、キュウリの経営安定に向けて、JA 等と連携して複合品目の探索のための現地試験や検討を継続していきます。

環境制御技術アドバイザーによるサポート事業 ～キュウリモデル生産者の個別面談～



アドバイザーとはオンラインで

JA 高知県春野胡瓜部会では環境制御技術アドバイザーによるサポート事業を活用しており、12月15日にアドバイザーである（株）デルフィージャパンの麻生氏とオンラインで、モデル生産者の個別面談を行いました。普及所からは、生育状況・環境データ等を説明し、実際の管理を振り返りながら、かん水開始時間や飽差管理について意見交換がなされました。

普及所は、今後もアドバイザーから環境データの見方、栽培管理技術やコンサルティング力を学ぶとともに、産地全体への環境制御による増収効果の拡大を目指し、JAと連携して支援を行っていきます。

試験栽培を開始しました ～景観・緑肥用作物の活用を検討～



播種後トラクターでの鎮圧作業

近年、高知市では平坦地・中山間地共に、耕作放棄地が増加しています。そこで、普及所は、景観と緑肥効果の両方をねらった景観・緑肥用作物の試験栽培を始めました。

取り組みを行っているのは、集落営農組織のある地域です。平坦地域の介良地区では、環境保全型農業直接支払のカバークロップの取り組みがなされ、地力の増進も見込まれます。また、中山間地域の梅ノ木地区では、地域の農地を守る取り組みの一つとして検討されています。

普及所は、今後生育状況を調査し、地域にあった景観・緑肥用作物の活用を、集落営農組織とともに検討していきます。